

公益社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会

会報

平成 29 年 初年号



新年、明けまして
おめでとうございます！

新春インタビュー「ケアカフェ×ケアカフェ」

- 目次 -

- P1** 巻頭言
- P2** 新年理事挨拶
- P6** 新春インタビュー「ケアカフェ×ケアカフェ」
- P10** 関東ブロック協議会
- P13** 福蔵めぐり
今後の予定
- P14** 千葉県鍼灸マッサージ協同組合よりお知らせ

巻頭言

会長 石川 英樹



あけましておめでとうございます。

会員の皆様には当会活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

昨年は小春日和が続いておりましたが、年の瀬から急に冬らしい気候になりました。

やはり少し寒いほうが、コタツにミカンとお雑煮におせち料理が合いますね。

私を含め理事一同（数人を除く）は益々メタボに磨きがかかりそうですが、ちょっとためでも健康体でいられるのは、多少なりとも東洋医学を学んできたお蔭かなと、日々感謝の毎日です。

さて、昨年から今年にかけて世界情勢が目まぐるしく変化する中で、政府は日本再興戦略 2016 を基に今年の施策を進めようとしております。

この中で重要視されているのが最初に掲げられた「新たな有望成長市場の創出」であり、その中の一つに「世界最先端の健康立国へ」があります。

最先端の医療を突き詰めれば突き詰めるほど、我々の業である東洋医学が見直されるという現象も起きており、私たちの今後の行動によっては日本国内でも鍼灸マッサージの再評価が大きくなうねりとなり、真に医療の一翼を担う職業と認められる可能性も大きくなっています。

現状では医療なのか医療類似行為なのか法的な解釈で議論が交わされておりますが、法的解釈云々より真に国民に必要とされれば、その答えも自ずと見えてくるでしょう。

その為にも公益法人としては行政や関係諸団体、県民への働きかけを更に強化して参りますが、会員の皆様も技術を磨き、更に信頼される治療家になって頂くことが不可欠です。

今年が鍼灸マッサージ師にとって素晴らしい一年になるように、みんなで力を合わせて鍼灸マッサージ師の可能性を広げていきましょう。

今年も当会運営にあたりご協力とご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。皆様にとって幸多い一年であることを祈念して、年始のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 新年理事挨拶

【筆頭副会長】 染谷雄一 公衆衛生局長

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年、当会運営に皆様のご協力をいただきましてありがとうございます。

県民の皆様に鍼灸あん摩マッサージ指圧をご理解いただけるよう、努力してまいりましたが、まだまだ足りていない状況です。

業界に関わる私達も、もっと知識を深めて県民の方々の健康増進に少しでも貢献できるよう働かせていただき、本年は、更に鍼灸あん摩マッサージ指圧を多くの方に知っていただけるよう、尽力していきたいと思えます。

皆様にも年に一度は回の行事に参加をお願いしたいと思います。

本年も会員皆様のご協力をお願いいたします。

【次席副会長】 川端隆治 総務局長

会員の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年五月より、副会長としていろいろな会合や研修などを経験させていただき非常に充実した、一年となりました。特に政治活動や後期高齢者との折衝に関してはなかなか経験のできないことですし、会員の皆様にどれだけメリットのある話を引き出せるかなどを、必死に考え、昨年の情報提供につながったかと思えます。

また、自らの治療院に関してもしっかりと結果が残せたことは、とてもよかったと思えます。

現在の療養費に関して、会員の皆様より様々なご意見をいただいております。

全鍼師会も、厚労省との交渉を続けていただき、療養費を守っていけるように、今後も活動をして、さらには、我々の職域をいかに守っていくかを考えながら、今後も活動を続けていければと考えております。

石川会長の船出から、もうじき一年になります。次の一年をもっと良い年になるようにしっかりと活動できればと思えます。皆様からのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

【理 事】 濱田将光 高齢者支援局長

新年あけましておめでとうございます。

高齢者支援局といたしまして、生涯研修会と一緒に第3回目の『地域健康づくり指導者研修会』を行うことが出来ました。

単位を取得され、初回者研修を終了させる先生も出てまいりまして、大変うれしく思います。今後も地味ではありますが続けてまいりますので、よろしく願いいたします。

また、地域との連携への取り組みも強化していき、私たちが多くの方々に貢献していけるように頑張っていきたいと思っております。

また一年、皆様のお力を貸してください。
よろしく願いいたします。

【理 事】 室田智 スポーツ支援局長

皆様、新年あけましておめでとうございます。

東京オリンピックに向けて、日本各地で着々と準備が進んでおります。

本年も、スポーツと鍼灸の併合を皆さまにお伝えし、治療に役立てるよう、解りやすくお話をさせていただきたいと思っております。

千葉県鍼灸マッサージ師会では、スポーツ鍼灸についての講習会や、スポーツの現場でボランティア活動も行っていますので、会の活動に参加され、少しでも疑問があればご相談いただければと思います。

本年もよろしく願いいたします。

【理 事】 元吉正幸 公衆衛生局 学術部長

新年明けましておめでとうございます。

未来に根を持つような現在が重要です。

可もなく不可もない人生を望むのであれば、それはそれでいいのですが、未来に望む夢があるのなら、大変を迂回するばかりでは大きな変化は起こりようもありません。

夢を語る人ではなく、夢を実現する、夢と妄想の区別をつけて未来にどうなっていたいかの行動が大切です。

夢を現実的に持ち、現在社会で自分は何をしているのか。それは未来の自分自身をどのように変化させるのか。

生涯学習は未来に根を張るための栄養です。

皆様の栄養になるよう、本年も研修会等、頑張っていく所存です。

【理 事】 米井昭夫 総務局 視覚障害担当

会員の皆様、新年おめでとうございます。

昨年中も大変お世話になりました。

会員の皆様のため、本年も微力ながら頑張りますので、ご協力のほど宜しくお願いします。

会報や各種発送物には重要な連絡等が書かれておりますので、ご多忙のこととは思いますが、読んでいただければ幸いです。

また、会の活動等に、無関心にならずに積極的なご参加を重ねてお願いいたします。

無資格業者はますます増え、それらにかかる人々もたくさんおります。かれらに負けないだけの魅力ある治療院作りをしていきましょう。

視覚障害の先生方は、会員に占める割合もかなり少なくなっています。

会の運営に対しいろいろ声を上げていただけると、会は良い方向に向かっていきます。そのためにも会が発するアンケートなどにお答えいただけると嬉しいです。

本年も宜しくお願いします。

【理 事】 椎名喜代美 総務局 組織部長

明けましておめでとうございます。

新しい年が、始まりました。
今年は、どのようなことが待っているのでしょうか？

あはき業界でも、年ごとに、いろいろな流れが、早くなっているように思われます。
せめて、この正月は、ゆっくりと、前向きにいきたいと思っています。

今年は、ブロック協議会を千葉で開く予定です。その他にも、各研修会等、行事がたくさん詰まっております。

多くの皆様の参加をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

【理 事】 西村亮輔 総務局 広報部長

新年あけましておめでとうございます。

昨年1年間、広報部長ということで、会報の編集やインターネット、その他広報に関する業務を担当させていただきました。

昨年は、会報の発行回数が3回になり、コラムやインタビューなど、新しい試みをさせていただきました。

今年も、会報並びに、その他広報をよりよくしていくために頑張っていきたいと思います。

本年も宜しくお願いいたします。

新春インタビュー

「ケアカフェ」 × 「ケアカフェ」

今回、新春インタビューに選ばせていただいたのは、「ケアカフェいちかわ」の梶先生（千葉県鍼灸マッサージ協同組合理事）と「ケアカフェかしわ」の濱田先生（当会理事）です。

近年、各地で行われている「ケアカフェ」。

鍼灸師マッサージ師が主催している「ケアカフェ」がどのようなものなのか。どのようにはじめ、どのようなことで苦労したのか。どんなことが印象に残っているのか。

おしゃれなカフェで、お二人にお聞きしてまいりました。

Q：ケアカフェについて教えてください。

梶：北海道の旭川で始まった活動で、緩和医療をされている阿部先生が、多職種が集まり日頃のケアの相談できる場所を作りたいということで、ワールドカフェ形式で始められたものです。

Q：ワールドカフェ形式？

梶：テーブルに4人から6人くらいのグループをいくつか作り、20分から30分くらいで席替えをして、多くの人とリラックスをしながら話し、つながりを作っていくというやり方です。

Q：梶先生がケアカフェを始めたきっかけは何ですか？

梶：住んでいる地域に何か貢献したいとずっと思っていたところ、多職種連携してやっている「ケアカフェ旭川」を知って、うちの地域でもやってみようと思ったんです。

Q：ケアカフェはどこで知ったんですか？

梶：Facebookです。地域に貢献したいけれどやり方がわからなくて、Facebookで「ケアカフェ旭川」が紹介されていて、主催者の阿部先生に連絡したところ、どんどんやってくださいと後押しして下さったんです。



ケアカフェいちかわ 梶先生

Q：ケアカフェかしわの濱田先生の始めたきっかけは何ですか？

濱田：僕は健康指導者研修をやっているんですが、地域包括ケアシステムについて、色々な人とお話をする中で、鍼灸マッサージ師の立ち位置が結構難しく、「顔の見える関係会議」などに出席しても、鍼灸マッサージ師だとなかなか中に入っていけないんですよ。

色々な医療関係者が集まる中で、彼らも、自分達ですらも、鍼灸マッサージ師の立ち位置がわからないんです。もっと自分たちの立場を越えて、話ができないだろうかと考えていたところ、梶先生の「ケアカフェいちかわ」を知って、これだ！と思ったわけです。

梶：自分たちの立場や肩書のもとでやる、「硬い会議」は大事だと思いますが、そうでない、もっと気楽に意見を言える会議も必要だと思うんです。

Q：ケアカフェをやるにあたって苦労されたことはなんですか？

濱田：最初に人を集めるのが大変でしたね。参加者もそうだし、実行委員を集めるのも。みんながみんな同じ考えなら良いのだけれど、やはり、人それぞれなので。

意見が合わなくて、来なくなった人たちも結構いますしね。でも、今はだいぶメンバーも定着してきましたね。



ケアカフェかしわ 濱田先生

Q：梶先生はいかがですか？

梶：僕も濱田先生と同じで、人集めですかね。ゼロから1にする立ち上げのところが大変でしたね。ただ、僕には、かくさんというプロのファシリテーターの方が協力者において、彼のおかげで、立ち上げの当初はとても助かりました。

一番苦労したのは、彼が海外にボランティアに行ってしまうときに、彼の空いた穴を埋めるのがとても大変でした。

Q：一番印象に残っていることはなんですか？

濱田：最近、大学生など、若者が参加してくれているんですが、「LGBT」（レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダーの頭文字)をテーマに開催したときに、いつも参加してくれている大学生のお友達で、アパレルの仕事をしている子がいて、彼女は下着屋さんに勤めているらしいのだけど、男の人が下着を買いに来る。その人は見た目は男でも、中身は女性で、そんなお客さんにどう接したらよいかずっと悩んでいたそうで、たまたま、「ケアカフェ」を知って、来てくれたことがありました。介護や医療業界の人でない人たちとつながっていくことを望んでいたのも、とても印象に残りましたし、勉強になりました。

Q：梶先生はどんなことが印象に残っていますか？

梶：個人的には、毎回なんですけど、参加した方が笑顔で帰って行ってくれることがいつも印象に残ります。会としては、市川駅のアイリンクルームというところでやっているんですが、その定員が50名で、その会場が満員御礼になったときに、「ついにここまで来たか！」と感慨深かったです。

Q：今後、「ケアカフェをやりたい！」という方にアドバイスをお願いします。

濱田：自分の思いがブレない様にする会社ですかね。やっていくとブレそうになることがたくさんあるので。あとは、いいパートナーになってくれる人を探す会社ですね。そういう人が一人でもいてくれれば、何があってもやっていけると思います。

梶：僕も濱田先生と同じですね。理解してくれる人が一人でもいれば、進められるんじゃないかと思います。ケアカフェジャパンというホームページがあるので、そこを見ていただければ、当日の進め方や心構え、運営の仕方などが載っているので、それを使っていただければよいと思います。あとは声を上げて動き出すことだと思います。

Q：お二人とも、本日はお忙しい中、ありがとうございました！



関東甲越地区協議会 in 茨城

10/30（日）から10/31（月）にかけて、第69回関東甲越地区協議会が茨城県土浦市にてありました。

当日は非常に天気も良く、すがすがしい秋晴れに恵まれておりました。

さて、二日間にわたる協議会の一部を、報告させていただきます。

大会初日に全体協議会がありました。

まず議長団の選出があり、当会の染谷副会長が副議長に選任されました。

また、私も記録人として、選出されました。

内容は、テーマとして、『鍼灸マッサージ師の将来像を考える』という議題で、各県より事前に議題の提出がありました。

各県より様々な議題がありましたが、やはり多かったのは会員数の減少でした。千葉県も会員数は減少傾向にあり、検討課題のひとつかと思えます。

群馬県では、公務員労働組合のような5000人規模の団体と提携を結び、集客を狙っているとの話がありました。

埼玉県からは、往療のみ不支給となったりすることがあるそうです。激甚災害時、ボランティア施術者の育成・横の連携などもしていきたいとのことでした。

神奈川県からは、県内の施術者数は増えているが、やはり会員数は減少しているとのことでした。

地方の県では、やはり会員の高齢化が進み、マンパワーの不足が気になるとの報告で、県によっては、全体協議会の開催も厳しいとのご意見もありました。

千葉県からは、医師会との取り組みの話（講習会実施）や、後期高齢者広域連合との会合の話をいたしました。

厳しい内容の、全体協議会でしたが、現状は工夫をしなければ変わりません。

皆さんの忌憚のない意見などを頂戴し、千葉県としてしっかりやっていきたいと考えております。また、2020年の東京オリンピックなども控えており、それに向けての活動も各県はしております。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

☆☆記念講演☆☆

テーマ：経穴部位の世界標準化の課題—鍼灸学史・臨床との関わり

講師：香取俊光先生

経穴部位が世界標準化となり、委員を務められた香取俊光先生のお話をお聞きすることが出来ました。

世界基準にするにあたって、他の国の委員とのやり取りなど、ひとつ決めるにもそれぞれの意見の取りまとめが大変だったようです。

標準化に伴い、治療効果としてツボの位置が納得いかないような部位もあるかもしれないが、それはこれまでも臨床を繰り返し行ってきた経験を生かしてそれぞれの治療のやり方に励まれるとよいと話されていました。

かなりの数のツボについて話し合わられているようで、ご苦労されたようです。

私たちがこのようにご尽力いただいた先生方に恥じぬよう、精進してまいりたいと思います。

濱田将光



☆☆分科会パネルディスカッション☆☆

「2020年オリンピック・パラリンピックに向け、国際競技大会、市民レベルのスポーツ大会などに鍼灸マッサージ師が関わる可能性について」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。

コーディネーターは茨城県師会霞ヶ浦支部長の狩野先生。

パネリストは、千葉からは矢島先生、神奈川の朝日山先生、茨城からは北川先生の3名を中心に討論がされました。

各地域だけでなく日本で、世界で活躍中のパネリストの先生方からは、「競技スポーツに関わるようになったきっかけ」「関わってみての問題点」が提示されました。

<きっかけ>

- ・人脈やコーチと知り合う。人と出会える場に積極的に出かけてご縁を大切にする。
- ・選手時代の監督に挨拶に行く。
- ・近くの高校や公立校などに挨拶に行く。

<問題点>

- ・スポーツに興味のある若い人を会に加入してもらう。コーチ・指導者のやり易い方向にサポートしていく。
- ・選手の治療光景をSNSなどのネットに投稿してしまう方がいて注意したことがある。
- ・トレーナー活動と一緒に営業活動をしてしまう先生がいて注意した。選手の為を第一に活動してもらいたい。

さらに全鍼の「スポーツ鍼灸マッサージ指導者育成講習会」なども受講して、ATなどとの共通言語を使えるようにする。基本的な評価をできるようにする。などの話がありました。

また、超高齢社会の日本において、これからの介護予防事業などについての地域や行政との関わり方のアドバイスもいただきました。

以上、討論内容の抜粋ですがご報告させていただきます。

梶貴雄

●○福像めぐりチャリティーマッサージ●○

10月2日、福像めぐりチャリティーマッサージを開催しました。雨の多い日が続く中、スッキリと晴れ上がり、絶好のボランティア日和でした。

ボランティア参加者は、濱田先生、宮永先生、櫻井先生の県鍼灸マッサージ師会からの手伝いと、室田先生、藤林先生、米良先生、木村先生、阿比留先生、椎名の船橋会員、学生の牧野さん、佐藤さん、菅原さん、丸谷さん(2名)でした。

今年は、福像めぐりの本部が、市場に移ったため、少し寂しい会場になってしまいましたが、49名の受療者がおりました。収益の1部を、災害の義援金として、寄付させていただきました。

協力してくださった先生、ありがとうございました。

来年も、多くの方の協力を、お待ちしております。



●○第2回学術研修会のお知らせ●○

【日 時】平成29年2月26日(日)10:00~16:00

【場 所】県師会事務所 研修室

千葉市中央区新宿 1-8-11 千葉新宿ビル3階

☆第一部☆

【時 間】10:00~12:00

【演 題】腰・下肢痛のあはき治療 『診たてと鑑別・治療法』

【講 師】元吉正幸 当会学術部長、日本鍼灸神経科学会副会長、日本臨床動作学会臨床動作士

☆第二部☆

【時 間】13:00~16:00

【演 題】『認知症の人に対する、あはき治療の実際と可能性』

【講 師】兵頭 明先生 (学)後藤学園中医学研研究所所長、(一社)老人病研究会常務理事

【交通機関】京成千葉中央駅から徒歩5分 JR千葉駅から徒歩12分 JR本千葉駅から徒歩12分

【費 用】資料代 1,000円 弁当代 600円 飲み物(緑茶)100円

※お弁当が必要な方は参加申込み時にご注文ください。

千葉県鍼灸マッサージ協同組合よりお知らせ

廃鍼事業

協同組合では感染性廃棄物の処理を適切に行っていただくために、下記の内容にて廃鍼事業を行っております。

7L 2,100 円(税別)	20L 2,520 円(税別)
	

鍼灸マッサージ管理システム(レセプトシステム)

治療院向け業務支援、療養費支給申請書作成支援のための鍼灸マッサージ管理システムの提供を開始しました。毎月の申請書作成業務にかかる事務作業が軽減できるシステムとなっております。是非、ご活用ください。

【メリット】

- インストールの必要がなく、すぐに使い始められる
- 患者様のカルテ情報と日々の施術記録から申請書を作成できる
- 同意書の管理ができる(同意書有効期間のチェックも簡単)
- 患者様の予約をスケジュール表で管理できる
- 事務局に提出する書類が自動で作成できる
- 審査チェックや数字が自動計算され、間違いがほとんど起こらない
- 往診距離を自動で計算できる
- 一部負担金の未入金管理が出来る
- 申請書を送付してから決定されるまでの進捗状況が一目瞭然でわかる
- 音声読み上げソフトに対応し、視覚障害者の方でもご利用可能
- スマホ、タブレットでも作業が可能
- 使用方法など分からないことは事務局でサポートします
- 審査手数料が5%⇒4%に減額するプランも選択可能

自由診療の施術記録、予約管理は無料でご利用いただけます。
お申込み、お問合せは県師会事務局までお気軽にご連絡ください。





発行 公益社団法人 千葉県鍼灸マッサージ師会
〒260-0021 千葉県千葉市中央区新宿 1-8-11
千葉新宿ビル 3階
Tel.043-301-3489 Fax.043-301-3499
<http://www.harikyumassage.jp>

発行責任者 石川英樹
編集責任者 西村亮輔